

# 羽幌町総合振興計画策定のための 町民アンケート集計結果

町では、平成24年から10年間を計画年とした次期「羽幌町総合振興計画」の策定に向けて、町民のみなさんの意見を広く取り入れるためアンケート調査を昨年実施しました。

アンケートにご協力いただいた皆さまにお礼申し上げますとともに、その集計結果がまとまりましたので、今月号で町民アンケートの集計結果の概要をお知らせします。

今後、一般公募の委員を含む「まちづくりはばる委員会」などにより、結果を充分検討し、皆さんのご意見やご提案を計画に反映させていきます。

## アンケート実施方法

各方面区6世帯（方面委員と方面委員が地区で依頼した5世帯）と希望者に調査票を配布し回収

## アンケート実施期間

平成22年10月14日～11月11日

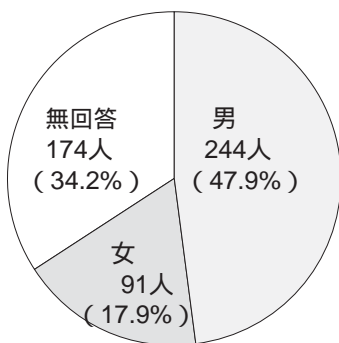
回収率 86.6%

配布 588世帯  
回収 509世帯

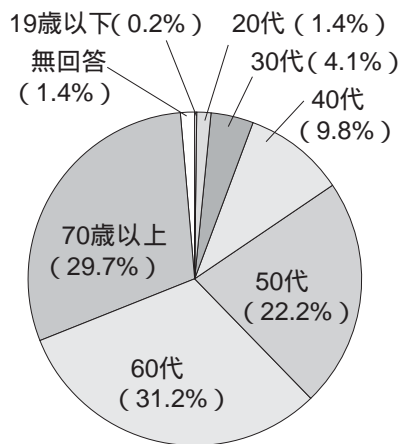
アンケートはこのほか小学生、中学生、企業を対象にも実施しています。町民アンケートを含め、アンケートの集計結果の詳細は町ホームページに掲載しているほか、役場と天売、焼尻両支所、公民館、健康センターで閲覧できますので、ご希望の方はご覧いただけます。

## ※ 回答者について

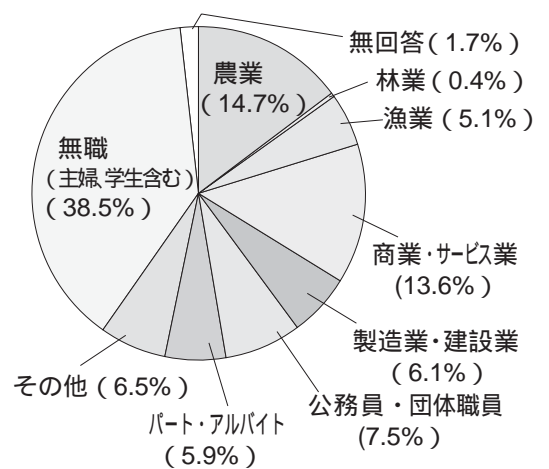
### 男女構成比



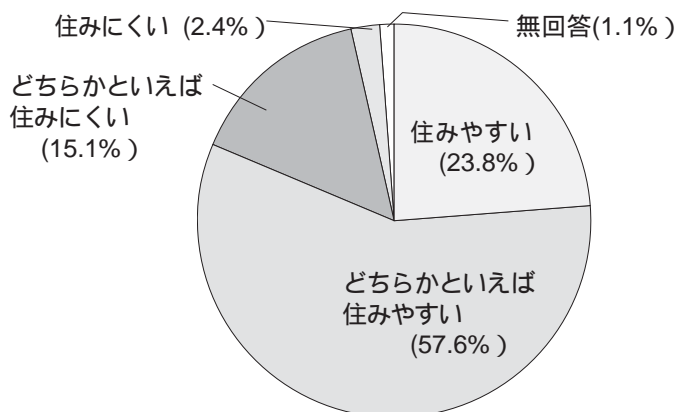
### 年代構成比



### 職業構成比



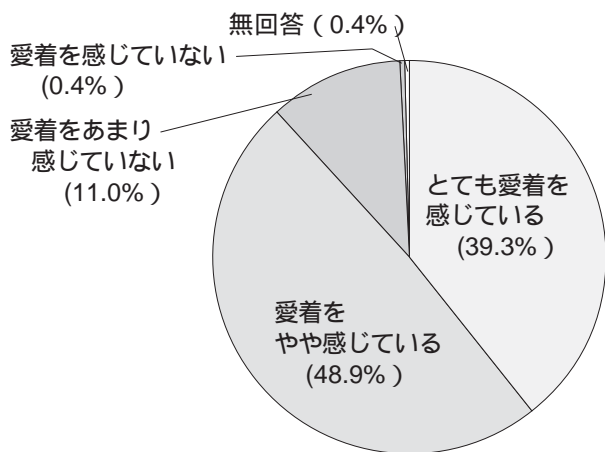
## Q 現在の羽幌町の住み心地をどのように感じていますか？



「どちらかといえば住みやすい」が57.6%で最も多く、「住みやすい」と答えた23.8%を合わせると、全体の8割を超えています。



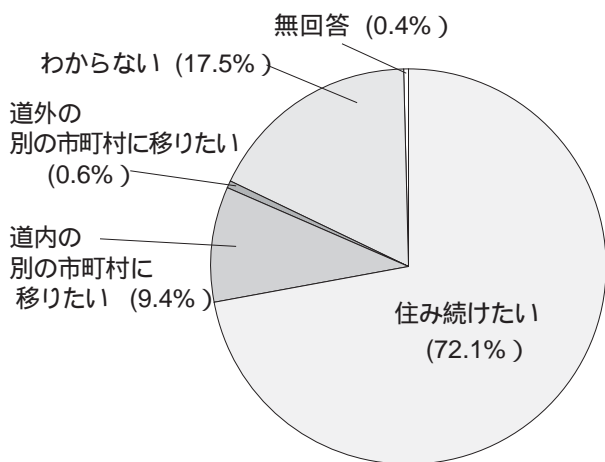
**Q 羽幌町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか？**



「愛着をやや感じている」が48.9%と最も多く、次いで「とても愛着を感じている」が39.3%となっており、合わせると概ね9割近くの回答者が羽幌町に愛着があると回答しています。

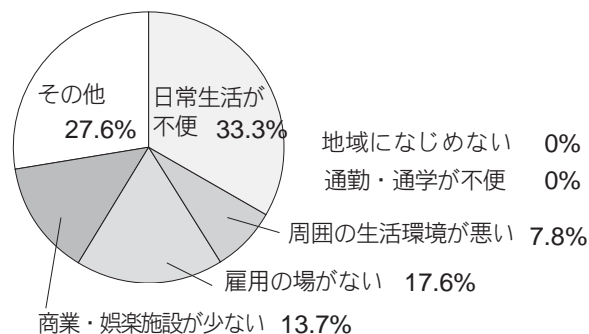


**Q これからも羽幌町に住み続けたいですか？**



概ね7割の回答者が今後も羽幌町に定住したいという回答であり、「道内・道外の別の市町村に移りたい」という回答は少数となっています。

**Q 別の市町村に移りたいと答えた理由**

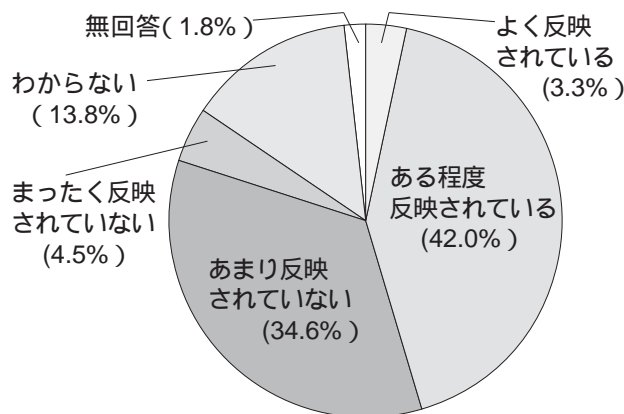


移りたい理由は「日常生活が不便」が多く、「その他」では、医療関係の不安や不備の声が多く挙げられており、医療対策が重要な課題と考えられます。

**Q 町民の意向がまちづくりにどの程度反映していると思いますか？**

「よく反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせると45.3%となっています。

一方、「全く反映されていない」「あまり反映されていない」を合わせると39.1%で、意見・要望等の意向がまちづくりに反映されていると答えた方が若干上回る結果となっています。

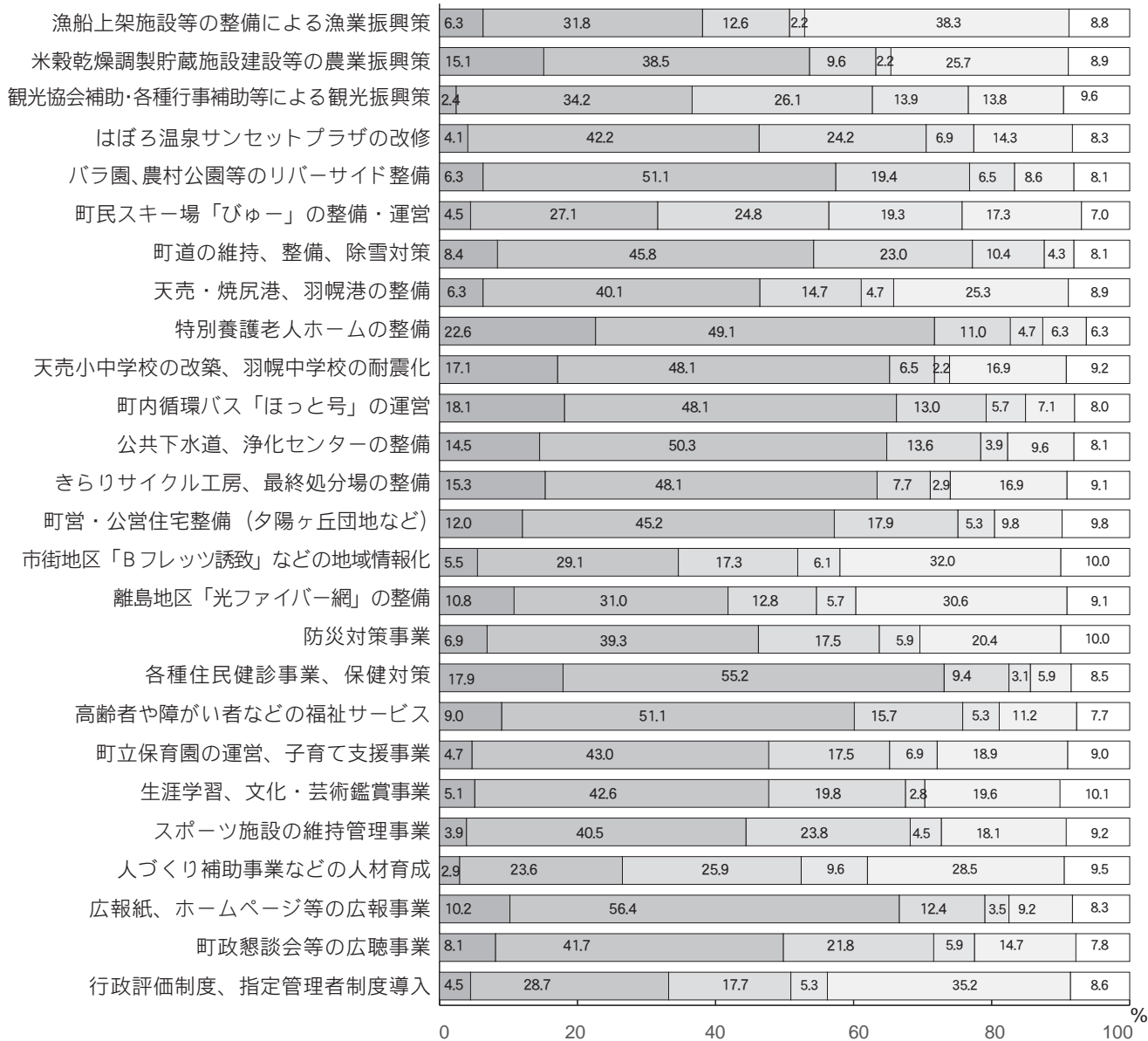




# 平成14年策定の 羽幌町総合振興計画「ほっとプラン21」の取組みについて

## どのように感じていますか？

高く評価する  
  まずまず評価する  
  あまり評価できない  
  評価できない  
 知らない・わからない  
 無回答



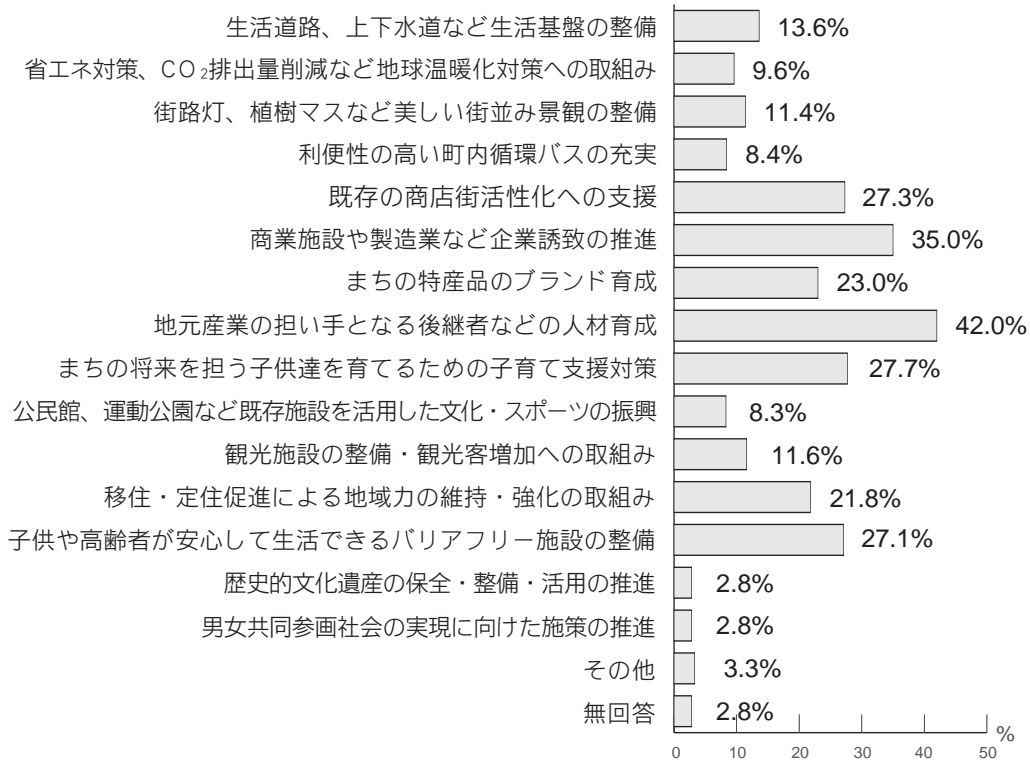
これまで「総合振興計画ほっとプラン21」（平成14～23年度）をもとにまちづくりを進めてきましたが、その取組みへの評価では、「各種住民健診・保健対策」が「高く評価する」と「まずまず評価する」を合わせて73.1%と最も高く評価されています。

「特別養護老人ホーム整備」「学校の耐震化」「町内循環バス運営」「公共下水道整備」「ゴミ処理体制」「福祉サービス」「広報事業」等は6割を超える回答者が評価しています。反面、「町民スキー場の運営」「観光振興策」「人材育成」分野は評価が低い結果が出ています。

また、「漁業振興策」「港の整備」「地域情報化」「人材育成」「行財改革」については、「知らない・わからない」が多く、周知等について検討が必要と考えられます。



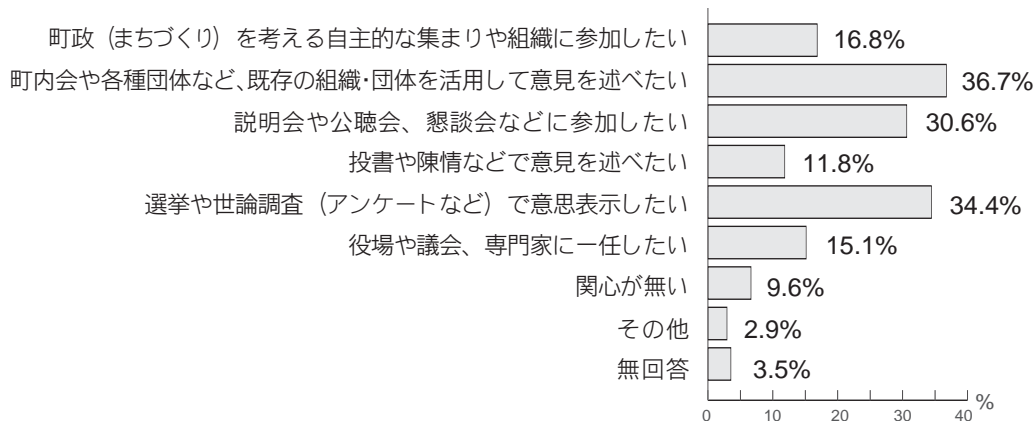
**Q いきいきとした魅力ある地域社会の実現のために 取り組むべきことは？** 回答を三つ選ぶ  
複数回答



いきいきとした魅力ある地域社会の実現に取り組むべきこととして、「地元産業の担い手となる後継者などの人材育成」が42.0%と最も多く、次いで「商業施設や製造業など企業誘致の推進」、「まちの将来を担う子供達を育てるための子育て支援対策」となっています。また、「既存の商店街活性化への支援」や「子供や高齢者が安心して生活できるバリアフリー施設の整備」もほぼ同程度の回答が得られています。



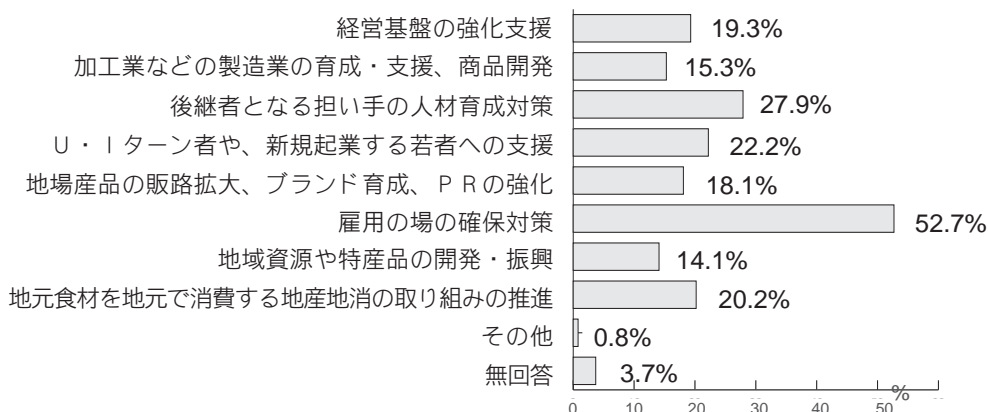
**Q まちづくりへの参加方法についてどのようにお考えですか？** 回答を二つ選ぶ  
複数回答



「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が36.7%と最も多く、次いで「選挙や世論調査（アンケートなど）で意思表示したい」、「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」となっています。

## Q 羽幌町の産業振興に必要なことは？

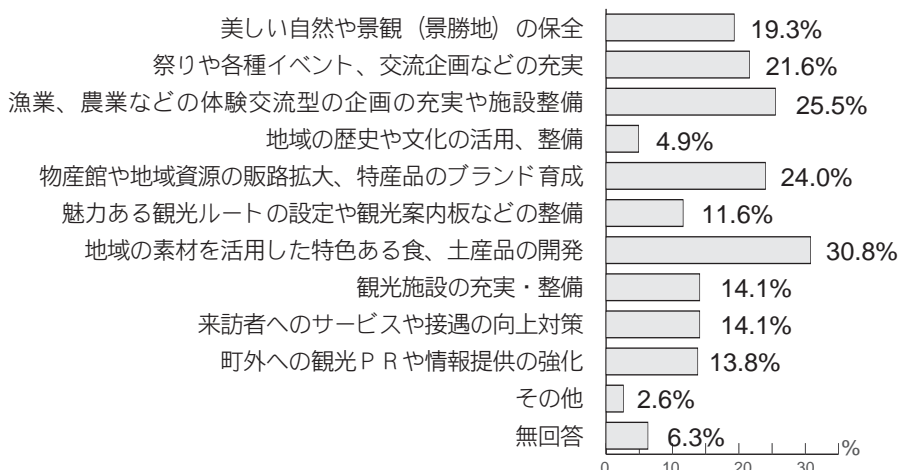
回答を二つ選ぶ  
複数回答



「雇用の場の確保対策」が52.7%と多く、回答者の5割以上が必要としています。次いで、「後継者となる担い手の人材育成対策」「新規起業する若者への支援」となっており、地域経済の衰退を抑制するため、雇用の場の確保が課題であり、後継者の人材育成、担い手である若者への支援が求められています。

## Q 羽幌町の観光振興に必要なことは？

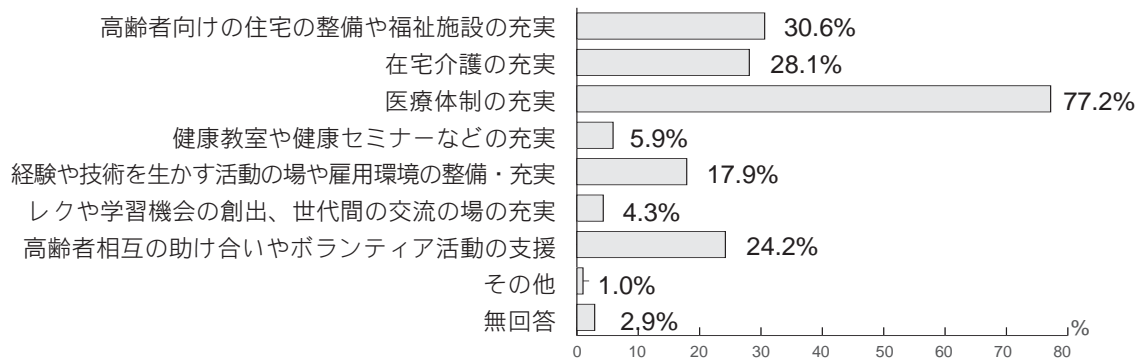
回答を二つ選ぶ  
複数回答



地域資源を活用した食、特産品の開発や、地域ブランドとしての商品の育成が必要とする回答がやや多い結果ですが、各項目に平均して回答が分かれています。観光振興の上で、特産品のブランド化、特色ある食・土産品の研究開発、販路拡大に向けた積極的なPR、各種イベント等や体験交流型の企画など課題は広範囲と言えます。

## Q 安全・安心なまちづくりに必要なことは？

回答を二つ選ぶ  
複数回答

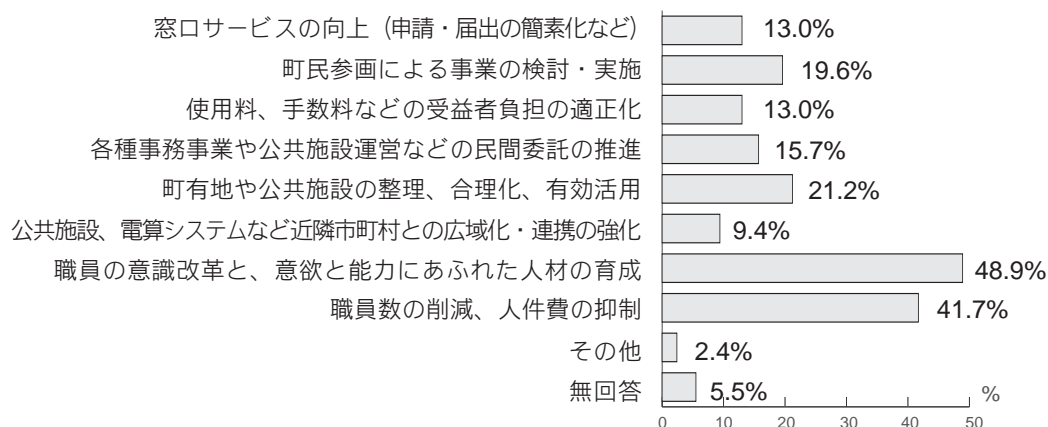


「医療体制の充実」が77.2%と最も多く、回答者の約8割が最重要項目としています。次いで「高齢者向け住宅の整備や福祉施設の充実」、「介護の充実」が必要という意見が挙がっています。



## Q 自立した行財政運営を進めるために必要なことは？

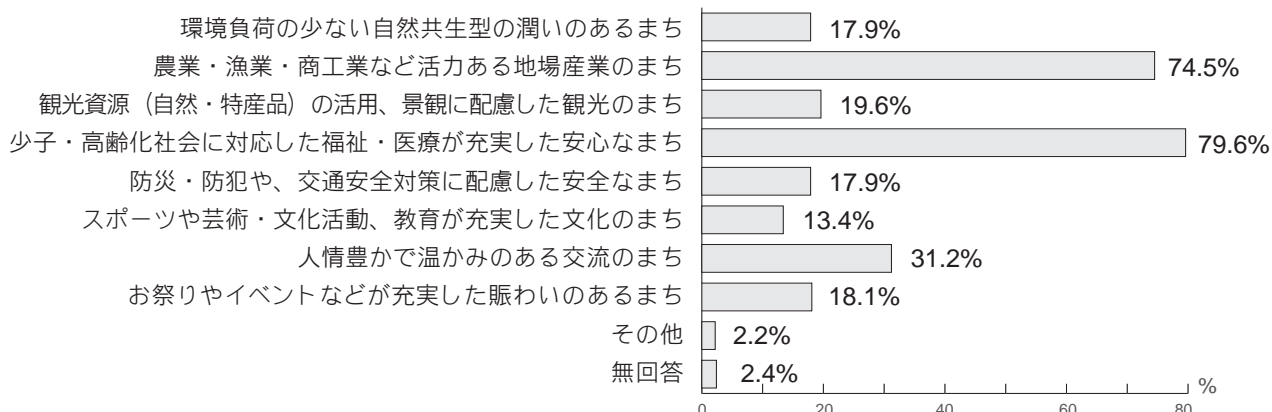
回答を二つ選ぶ  
複数回答



「職員の意識改革と、意欲と能力にあふれた人材の育成」と「職員数の削減、人件費の抑制」と答えた回答者が多く、次いで「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」が挙げられ、少子・高齢化、人口減少社会に対応した職員数等の適正化や公共施設の効率化により、町財政を抑制する意見が挙がっています。

## Q 今後、羽幌町をどのような町にしていきたいですか？

回答を三つ選ぶ  
複数回答



「福祉・医療が充実した安心なまち」が79.6%と最も多く、次いで「活力ある地場産業のまち」が74.5%となっており、回答者の7割以上がこの二つの項目に回答しています。

また、「人情豊かで温かみのある交流のまち」が31.2%と多く、これらの項目が次期の総合振興計画の基本目標の大きな柱になると考えられます。

